

[様式 9 - 1]

福祉サービス等第三者評価結果

総合評価

受診施設名	大原野保育園	施設種別	保育所 (旧体系：)
評価機関名	社団法人 京都府保育協会		

平成 24 年 2 月 29 日

総 評	<p>洛西ニュータウンのすぐ近くに位置し、周辺を古くからある住宅地域と田畑に囲まれた自然環境に恵まれた場所にある昭和55年に設立された保育園です。</p> <p>管理者は、保育園の運営は「現場発」という考えを大切にし、「職員一人ひとりが安心して保育に邁進出来る環境、子育てしながら成長出来る環境」の整備に努めています。また、保育園で毎日過ごす子どもたちに対し安定した保育が提供され、子どもと園と保護者との信頼関係が深まるよう取り組んでいます。</p> <p>保育内容は、コーナーあそびを中心とした、子どもたちが主体的に遊びを発展させ集中出来る環境づくりに取り組んでおり、子どもを見守りながら、自ら伸びようとする力を大切にしています。また、園内のおもちゃや保育備品などの多くを職員が手づくりしており、園内は家庭的で暖かい雰囲気があります。</p> <p>積極的に推進されているIT化による職員間の連携や、記録管理面の業務効率化も、保育の時間を大切にするために配慮しています。</p> <p>一時保育や、子育て支援事業として毎週水曜日に園庭開放や親子教室なども実施し、地域の子育て家庭の支援に努めています。</p>
特に良かった点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 職員室、各保育室にあるパソコンやタブレット端末、職員個人のパソコンなどがクラウド環境で連携し、セキュリティに配慮したうえでタイムリーに情報共有が出来るよう整備されています。 ・ 「職員が同じ方向を向いてスキルアップできるように」という管理者の考えにより、同じ講師による継続した園内研修を毎月実施し、職員の共通理解の中で保育が実施されるよう努めています。園内研修では、講師による実際の保育現場の確認や、質問等の時間を設け、より深く学べるよう取り組んでいます。 ・ すべての保育室にコーナー遊びの環境があり、発達に応じたおもちゃを数種類用意し、子どもたちが主体性を持って遊べるよう整備しています。
特に改善が望まれる点(※)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園の方針や、経営環境に沿った人員体制を整備しています。今後は、プランを明文化するなど職員が、求められる必要な人材像に対し共通認識が持てるよう取り組み、人事管理に活用されると良いでしょう。 ・ 実習生やボランティアを毎年受け入れています。今後は、受け入れに関する意義・方針を明文化されることが望ましいでしょう。 ・ 事故防止のための業者による遊具チェックなどを実施しています。今後は、現場職員でチェックする遊具チェックリストを作成するなど、事故予防に取り組まれることが望ましいでしょう。

※それぞれ内容を3点程度に絞って掲載しています。評価項目毎のコメントは「評価結果対比シート」の「自由記述欄」に記載しています。

京都府福祉サービス等第三者評価事業

[様式9-2]

【保育所版】

評価結果対比シート

受診施設名	大原野保育園
施設種別	保育所
評価機関名	京都府保育教会
訪問調査日	2012年2月29日（水）

保育所評価基準 対比シート

I 福祉サービスの基本方針と組織

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
I-1 保育の理念・基本方針・目標	I-1-1 保育の理念、基本方針・目標が確立されている。	① 保育の理念が明文化されている。	B	A
		② 保育の理念に基づく・基本方針・保育目標が明文化されている。	B	A
	I-1-2 保育の理念、基本方針・目標が周知されている。	① 保育理念・保育方針・保育目標が職員に周知されている。	B	B
		② 保育理念・保育方針・保育目標が利用者等に周知されている。	B	A
I-2 計画の策定	I-2-1 中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。	① 中・長期計画が策定されている。(非該当)	非該当	非該当
		① 保育課程が保育理念・保育方針・保育目標に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して編成されている。	A	A
	② 保育課程と年間指導計画、短期指導計画との整合性が図られている。	A	A	
	③ 指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき改定されている。	A	A	
	④ 保育課程の編成や指導計画の作成が組織的に行われている。	B	A	
	⑤ 保育課程・指導計画が職員や利用者等に周知されている。	B	A	
I-3 管理者の責任とリーダーシップ	I-3-1 管理者の責任が明確にされている。	① 管理者自らの役割と責任を職員に対して表明されている。	B	A
		② 遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。	B	A
	I-3-2 管理者のリーダーシップが発揮されている。	① 質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。	A	A
		② 経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。	A	A

[自由記述欄]

・保育の理念、それに基づく基本方針が明文化されており、園生活のしおりやパンフレット、ホームページに掲載し周知に努めています。また、職員会議では保育内容が園の方針に沿ったものとなるよう話し合われています。今後は、非常勤職員への周知について工夫されるとな幸いです。

・保育課程が園の方針に沿って編成され、長期指導計画・短期指導計画との整合性が図られています。それらは、パソコンで管理され、過去の指導計画との整合性や、評価・反省が次の計画に反映されていくよう配慮されています。保護者は、指導計画に基づいた子ども一人ひとりの発達記録を、自分の子どもに限りパスワードを入力すれば閲覧できるようにしており、計画内容と子どもの現時点の発達過程の周知に努めています。

・園長と全職員との連絡が密に取れるよう「園長より」というメッセージ配信を毎日発信しており、職員室、各保育室にあるパソコンやタブレット端末、職員個人のパソコンなどがクラウド環境で連携し、タイムリーに情報共有が出来るよう整備されています。職員会議録も園長が統一の書式に落とし込み、随時配信し、会議に参加しない職員にも確認できるようにしています。

・遵守すべき法令等は、「園長より」や更衣室の掲示版を利用し、全職員が確認出来るよう工夫しています。

・組織内の情報連携や書類整備をパソコンを有効に活用し、管理しています。管理者による無理のないパソコンやタブレット端末導入により、必要な部分から着実にIT化を進め、職員が保育に集中できる環境整備に努めています。

II 組織の運営管理

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
II-1 経営状況の把握	II-1-(1) 経営環境の変化等に適切に対応している。	① 事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。	A	A
II-2 人材の確保・養成	II-2-(1) 人事管理の体制が整備されている。	① 必要な人材に関する具体的なプランが確立している。	B	B
		② 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
	II-2-(2) 職員の就業状況に配慮がなされている。	① 職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。	A	A
		② 職員の福利厚生や健康の維持に積極的に取り組んでいる。	A	A
		③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。	A	A
	II-2-(3) 職員の質の向上に向けた体制が確立されている。	① 職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。	A	A
		② 個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され計画に基づいて具体的な取り組みが行われている。	B	A
③ 定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。		A	A	
II-2-(4) 実習生の受け入れが適切に行われている。	① 実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。	A	B	
	② 実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。	A	A	
II-3 地域との交流と連携	II-3-(1) 地域との関係が適切に確保されている。	① 利用者と地域とのかかわりを大切にしている。	B	A
		② 事業所が有する機能を地域に還元している。	A	A
		③ ボランティア受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。	B	B
	II-3-(2) 関係機関との連携が確保されている。	① 必要な社会資源を明確にしている。	B	B

[自由記述欄]

- ・園の方針や、経営環境に沿った人員体制を整備しています。今後は、プランを明文化するなど職員が、求められる必要な人材像に対し共通認識が持てるよう取り組み、人事管理に活用されると良いでしょう。
- ・園長と職員は定期的に面談を行い、就業状況や意向を把握するよう努めています。
- ・研修は外部研修に加え「職員が同じ方向を向いてスキルアップできるように」という管理者の考えにより、同じ講師による継続した園内研修を毎月実施し、保育現場の確認や、質問等の時間を設け、より深く学べるよう取り組み、保育の内容や環境が職員の共通理解の中で実施されるよう努めています。
- ・実習生やボランティアを毎年受け入れています。今後は、受け入れに関する意義・方針を明文化されることが望ましいでしょう。
- ・地域子育て支援ステーション事業として「親子教室わくわくランド」を開催しています。毎回、多数の未就園児親子が集い、地域外からも参加があります。園庭開放、ダンス、おもちゃ遊び他様々な企画に加えて子育て相談も行っています。また夏祭りでは、地域の住民も多数参加して開催しています。
- ・地域の関係機関(病院、学校、福祉関係機関など)の連絡先等をまとめ、職員が共有できるよう工夫されると良いでしょう。

Ⅲ 適切な福祉サービスの実施

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
Ⅲ-1 利用者本位の福祉サービス	Ⅲ-1-(1) 利用者を尊重する姿勢が明示されている。	① 利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。	B	A
	Ⅲ-1-(2) 利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。	① 苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。	A	A
		② 利用者からの意見等に対して迅速に対応している。	A	A
Ⅲ-2 サービスの質の確保	Ⅲ-2-(1) 質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。	① 定期的に第三者評価を受診し、事業内容の改善に活かしている。	C	A
		② 定期的に自己評価を行い、その結果と課題を職員間で共有し、改善に向けた取り組みを行っている。	B	B
	Ⅲ-2-(2) サービス実施の記録が適切に行われている。	① 入園面接・健康診断など定められた手順に従ってアセスメントを行っている	A	A
		② 利用者に関する記録の管理体制が確立している。	B	A
		③ 利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。	A	A
Ⅲ-3 サービスの開始・継続	Ⅲ-3-(1) サービス提供の開始が適切に行われている。	① 利用希望者に対してサービス選択に必要な情報を提供している。	A	A
		② 保育の開始にあたり利用者等に説明し同意を得ている。	A	A
	Ⅲ-3-(2) サービスの継続性に配慮した対応が行われている。	① 転園・卒園にあたり保育の継続性に配慮した対応を行っている。	B	A

[自由記述欄]

・利用者のプライバシー保護に関する規程を全職員に配布しています。その内容を理解したうえで、全職員に誓約書をもっています。

・今回の第三者評価を受けるにあたり月2回の職員会議で内容を周知し、委員を中心とした全職員による自己評価を行い保育内容の改善に活かしています。

・定期的に各職員による自己評価を実施しています。今後は、その内容を次に活かせるよう工夫されるとより良いでしょう。

・子どもの身体状況や生活状況等を適切に記録し管理しています。記録管理に関する規程も整備されています。

・園のホームページでは、園の内容を詳しく掲載しています。保育内容などの動画配信や、写真等による情報提供を行っています。園見学も随時受け付けており、案内パンフレットを配布しています。

・児童の転園に際し、転園先から要望があれば保育要録等の書類を提供するなど、継続性に配慮した対応を行っています。

IV-1 子どもの発達援助

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-1 子どもの発達援助	IV-1-(1) 健康管理・食事	① 登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり、子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している	A	A
		② 健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	B	B
		③ 歯科健診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている	A	A
		④ 感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している	A	A
		⑤ 食事を楽しむことができる工夫をしている	A	A
		⑥ 子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている	A	A
		⑦ 子どもの食生活を充実させるために、家庭と連携している	A	A
		⑧ アレルギー疾患をもつ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行なっている	A	A
	IV-1-(2) 保育環境	① 子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している	A	A
		② 生活の場に相応しい環境とする取り組みを行なっている	A	A
	IV-1-(3) 保育内容	① 子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている	A	A
		② 基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している	A	A
		③ 子どもが自発的に活動できる環境が整備されている	A	A
		④ 身近な自然や社会とかかわれるような取り組みがなされている	A	A
		⑤ さまざまな表現活動が自由に体験できるように配慮されている	A	A
		⑥ 遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している	A	A
		⑦ 子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てよう配慮している	A	A
		⑧ 性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないよう配慮している	A	A
		⑨ 乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	B	A
		⑩ 長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮がみられる	A	A
		⑪ 障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる	B	A

【自由記述欄】

- ・内科健診、歯科健診を定期的実施し、保護者にその内容を伝えていきます。今後は、内科健診の内容等を含め、嘱託医を交えて定期的に会議を行うなど、保育に反映させることが望ましいでしょう。
- ・感染症が発生した場合、全保護者に発生状況をメール配信し、予防対策とあわせて通知しています。
- ・毎日の主食には麦ごはんを取り入れたり、隣接する農園では、いちごや大根などの栽培、収穫体験が出来るよう取り組むなど、食育に力を入れています。収穫した野菜などの調理体験も年齢に応じて行っています。
- ・毎月の給食日より発行や、参観時には保護者が給食を食べられる機会を設けるなど、食事や給食に対して関心を持ってもらえるよう取り組んでいます。
- ・各保育室は家庭的な雰囲気や装飾がほどこされ、各年齢に応じた身辺整理が自主的にできやすい生活環境を保育士の手作りの物で整えています。
- ・すべての保育室にコーナー遊びの環境があり、発達に応じたおもちゃを数種類用意し、子どもたちが主体性を持って遊べるよう整備しています。また、自主的に片付けられるよう全ての物に写真をつけて置き場所が分かるよう配慮しています。
- ・園の周辺は野山、畑など豊かな自然に囲まれ、夏にはホテルが見られる川からはせせらぎが聞こえ、毎週の園外保育では、その環境を有効に活用しています。園庭には金柑、やまもも、ぶどう、キウイ、りんご、さくらんぼ、びわ等の果樹が植えられ、子どもたちが季節ごとの収穫が楽しめるようにしています。
- ・乳児保育室は床暖房や空気清浄器の設置や、一部畳を設置するなどの環境整備に努めています。また、SIDSへの対応として子ども一人ひとりの午睡状況を確認しています。

IV-2 子育て支援

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-2 子育て支援	IV-2-(1) 入所児童の保護者の育児支援	① 一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別面談などを行なっている	A	A
		② 家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている	A	A
		③ 子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている	A	A
		④ 虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに所長まで届く体制になっている	A	A
		⑤ 虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、児童相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている	A	A
		⑥ 子どもの発達記録やケア記録、保育要録など保育に必要な記録が整備され、保育内容（指導計画）や小学校など専門機関との連携に活かされている。	A	A
	IV-2-(2) 一時保育	① 一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている	A	A

[自由記述欄]

・保護者には、メール配信サービスのシステムがあり、園からの情報を伝えたり、各保育室にライブカメラが設置され、日常の子どもの様子を見る事ができるなど、家庭と園との関係がオープンなものになるよう配慮しています。また、お迎え時には保育士と口頭で様子を伝え合ったり、悩みや相談を受けるように努めています。

・家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されています。その内容は、月2回の職員会議等で共有されています。

・年2回クラス懇談会を開催し、子育てに対する情報交換の場を設けています。幼児は、懇談会后、保育と一緒に参加する機会を設けています。保育参加型の行事として、夏祭り、運動会、絵画展などがあります。保育参観は、いつでも希望があれば受け付けています。

・一時保育は地域のニーズに応じており、毎日10名程度の利用があります。一時保育専用の保育室と専任の保育士3名で対応しています。

IV-3 安全・事故防止

評価分類	評価項目	評価細目	評価結果	
			自己評価	第三者評価
IV-3 安全・事故防止	(1) 安全・事故防止	① 調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている	A	A
		② 食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている	B	B
		③ 事故防止のためのチェックリスト等があり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている	B	B
		④ 事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A
		⑤ 不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている	B	A

[自由記述欄]

・保育室の掃除や、トイレ掃除の手順(マニュアル)は写真入りのマニュアルが掲示され、一目で職員がわかるよう工夫しています。

・食中毒の発生時に対応できるマニュアルを整備しています。今後は、マニュアル内容が現場で活かされるよう取り組まれるとより良いでしょう。

・事故防止のための業者による遊具チェックなどを実施しています。今後は、現場職員でチェックするリストを作成するなど、事故予防に取り組まれることが望ましいでしょう。

・不審者侵入時に対応するための訓練を実施しています。